2026年11月12日

各　　位

会 社 名　　GMO フィナンシャルゲート株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　杉山　憲太郎
（コード番号　4051　東証プライム）
問合せ先　　取締役　コーポレートサポート本部
本部長　玉井　伯樹
（TEL 03-6416-3881）

配当方針の変更（配当性向の基準設定及び DOE 指標の導入）に関するお知らせ

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、配当方針の変更に関し下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．変更の理由

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のために必要な内部留保を継続するとともに、株主の皆様に対する安定した株主還元も継続していくことを経営の重要課題と考えております。
今般、株主還元に関する考え方をより明確にし、株主の皆様にとっての予見可能性を高めるとともに、資本効率を重視する当社の姿勢を示すため、配当性向の基準を定め、あわせてDOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）を下限指標として導入することといたしました。

２．変更の内容　　（下線部分は変更箇所）

変更前	変更後
当社は、株主還元を経営上の重要な課題と認識しており、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案した上で、安定的かつ継続的な配当を実施する方針です。	当社は、株主還元を経営上の重要な課題と認識しており、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案した上で、安定的かつ継続的な配当を実施する方針です。 <u>この基本方針のもと、調整後利益（親会社の所有者に帰属する当期利益にキャッシュフローを伴うその他の包括利益を加算）に対する配当性向を55%以上とし、加えて、株主資本の効率的な活用を重視する観点から、DOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）10%を下限指標として設定いたします。</u> <u>※DOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）の算定においては「親会社の所有者に帰属する持分」から、「その他の資本の構成要素」を除外した調整後の数値を基に、期首・期末の平均値を用いて算定します。</u>

３．今後の見通し

2027年９月期の配当より適用いたします。

以　上